

■学長メッセージ



学長 坂本 禎智

皆さん、入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんの入学を心から歓迎し、これからの皆さんの学修活動と成長を支援していきます。

まず、本学がなぜこの地に生まれたのか、その「誕生」について述べます。本学は、「学校法人八戸工業大学」傘下の高等教育機関です。本法人は、1956年に、地域の主産業である水産業のための無線通信技術者育成のため、八戸高等電波学校として開設されたことから始まります。その後、八戸周辺地域の工業地帯としての発展に伴い、その人材育成と研究開発の充実を図ることが必要となり、本学は、地域の大きな期待を背負って1972年に開設されました。

本学は、当初、工学部3学科でスタートしましたが、地域産業の拡大と地域社会の要請に応えるために、学部・学科の増設、大学院の新設を経て、現在、工学部、感性デザイン学部の2学部6学科、大学院工学研究科3専攻を有する大学として成長してきました。人材育成のための教育と、地域の課題を解決するための研究活動を行って、地域社会へ貢献している大学です。学部卒業生は18,875名が卒業し、様々な分野、地域、場所で社会の発展を支える人材として活躍しています。

いま社会は、Society5.0社会、人生100年時代、コロナ禍を契機としたニューノーマル社会の到来など、大きな変化の渦の中にあり、皆さんが卒業した後に、このように変化の激しい時代を生きていくためには、専門分野の基礎力や応用展開力のほかに、社会の変化に対応できる柔軟な思考力、豊かな人間性と総合的な判断力が必要となります。そのような能力や資質を身に付けるため、皆さんには、講義・演習・あるいは卒業研究・卒業制作などの正課の学びのほかに、資格取得活動、課外活動など、正課外の学びも含めて幅広く学修して欲しいと願っています。様々な学修活動において、価値観の異なる人との交流を深めることも人間力を鍛える上でとても重要です。

本学の教育理念は「良き技術は、良き人格から生まれる」であり、これは「良き職業人となるためには、高度な専門知識とともに豊かな人間性と総合的判断力を持つことが必要である」ことを意味しており、上述のように、まさにこれからの社会を生きるための能力・資質の重要性を説いています。本学はこの理念を踏まえて、教育到達目標に相当する「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」を掲げていますが、これを高大接続と社会接続を意識した20の修得因子としてさらに細分化し、全学共通の人材育成目標としています。本学は、皆さんが卒業時にこれらの目標を達成できるように、定期的に学修成果を確認し、学修行動の改善を行える学修改善サイクルを構築しています。その要となるのがラーニング・ポートフォリオへの取り組みです。皆さんはこれを活用し、学修活動・学修成果を振り返って考察する姿勢を身に付け、更に、自らを成長に導く能力を身に付けて欲しいと願っています。この能力は、変化の激しい実社会において「自立して生き抜く力」になると信じています。皆さんの成長を期待しています。